

## 小冊子の書き方③（ツボとコツ編）

### 1、 まずはGOALまでの地図を書くこと(10分程度)

30～40ページもの文章を1から書き始めるのは、大変。

章立て（例）にあてはめ、書く内容を簡単に2～3行で書き始めてみましょう。

まずは、決められた順番通りに記述すればOK。

GOALまでの道筋が出来上がると、あとは具体例などで肉付けしていただくので、簡単です。

※前回の小冊子の書き方②（構成編）を埋めてみてください。

### 2、 集客できる小冊子を書く上でのポイント

#### ●商品の売り込みはNGです！

小冊子は売り込みをするためのものではなく、情報提供ツール。

売り込みをすると、安っぽくなってしまうため、決して売り込みをしないようにしてください。

なお、売り込みをしなくても、これだけの情報価値を提供してくれるというあなたなら、当然良いサービスを提供してくれると感じていただけますので、売り込まなくてよいのです。

なお、最後に特別特典をつけるのはOKです。ぜひ、やってください。

※無料相談チケット 通常1万円→無料 e t c

### ●読みやすさを意識すること。

文章は、読みやすくてなんぼです。ページを開くと、文字がぎっしり行間なく敷き詰められている。

となると、読むのが億劫になります。

逆に、図やイラスト、写真を上手に使い、かつ、行間や余白を作ると、目に優しくなります。

### ●小学校5年生の子でもわかりやすく書く

いつも、専門用語に慣れていると、当たり前になってしましますが、受け手にとっては、専門用語が多数あると、難しい文章に感じられることが多々あります。

ポイントは、小学校5年生の子でもわかるように、具体例を伝えつつ、書くこと。

わかりやすく教えることができる人を、素人は頼もしい存在と感じられるようになります。